

西耳鼻咽喉科 便り

一人ひとりにあった治療法を提案して、患者さんのお困りごとを解決することを目指しています。

インフルエンザ

まだまだ暑さが辛い毎日が続きます。今年の夏はヘルパンギーナ、手足口病、マイコプラズマ肺炎などの夏風邪は大流行しましたね。コロナウイルス感染症は流行が下火となったように思えますが、夏のはじめより徐々に感染者数が増えているので、引き続き注意して過ごしていきましょう。

いろいろなウイルスが流行している時期には、手洗い・うがいやマスクなどの感染対策も大切ですが、注意していても病気にかかってしまうことはあります。そのため、重症化しないためにワクチンを接種することはとても重要なことです。

昨年も猛威を振るったインフルエンザウイルスに今年も負けないよう、しっかりと対策をして一緒に乗り切って行きましょう。

●インフルエンザと普通の風邪はどう違うは？●

一般的に、風邪は様々なウイルスによって起こりますが、普通の風邪の多くは、のどの痛み、鼻汁、くしゃみや咳等の症状が中心で、全身症状はあまり見られません。発熱もインフルエンザほど高くなく、重症化することはあまりありません。

一方、インフルエンザは、インフルエンザウイルスに感染することによって起こる病気です。**38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等の症状が比較的急速に現れるのが特徴**です。併せて普通の風邪と同じように、のどの痛み、鼻汁、咳等の症状も見られます。お子様ではまれに急性脳症を、御高齢の方や免疫力の低下している方では二次性の肺炎を伴う等、重症になることがあります。もし、急に38度以上の発熱が出て、咳やのどの痛み、全身の倦怠感を伴うなどインフルエンザが疑われる症状が出た場合には、早めに医療機関を受診しましょう。ただし、発熱12時間未満の場合、検査の結果が陽性にならないことがあります。検査は発熱後12時間以上経過してから受けることをおすすめします。

●インフルエンザから身を守るためには●

- (1) 正しい手洗い
- (2) ふだんの健康管理
- (3) 適度な湿度を保つ
- (4) 人混みや繁華街への外出を控える

